

製品名: TFII E- β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18831**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 33kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | GTF2E2 |
| 別名 | GTF2E2; TF2E2; Transcription initiation factor IIE subunit beta; TFII E-beta; General transcription factor IIE subunit 2 |
| 遺伝子 ID | 2961.0 |
| SwissProt ID | P29084 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト TF2E2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200 |

背景

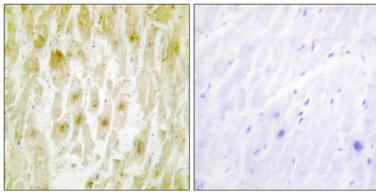
機能: TFIIH を開始複体にリクルートし、RNA ポリメラーゼ II C 末端ドメインキナーゼおよび TFIIH の DNA 依存性 ATPase 活性を

刺激します。TFIIH と TFII E はどちらも RNA ポリメラーゼによるプロモーター除去に必要です。類似性: TFII E ベータサブユニットファミリーに属します。類似性: 1つのTFII E ベータ DNA 結合ドメインを含みます。サブユニット: 2つのアルファ鎖と2つのベータ鎖からなる四量体。FACT サブユニット SUPT16H と相互作用します。機能: TFII H を開始複合体にリクルートし、RNA ポリメラーゼ II C 末端ドメインキナーゼおよび TFII H の DNA 依存性 ATPase 活性を刺激します。TFII H と TFII E はどちらも RNA ポリメラーゼによるプロモーター除去に必要である。類似性: TFII E ベータサブユニットファミリーに属する。類似性: TFII E ベータ DNA 結合ドメインを1つ含む。サブユニット: 2つの α 鎖と2つの β 鎖からなる四量体。FACT サブユニット SUPT16H と相互作用する。

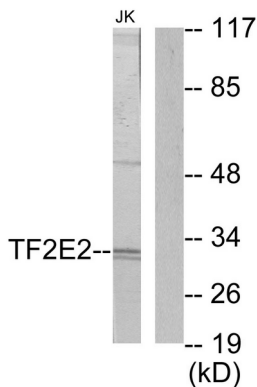
研究分野

基礎転写因子;

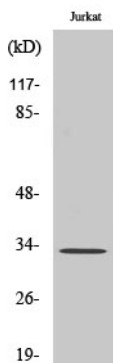
画像データ



TF2E2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TF2E2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TFII E- β ポリクローナル抗体を用いたさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。